

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	尚 爾華	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「健康管理のスペシャリストを目指すⅡ」 将来は企業や自治体、家庭において健康管理のスペシャリストとしてのスキルを高め、その知識をわかりやすく説明できることを目指す。このゼミでは地域住民の健康に関する調査方法を学ぶ。実践的学習としては、健康管理の対象者を選定し、聞き取り調査した上で、パーソナル運動及び食事の指導を行う。その調査結果と指導の成果をレポートとしてまとめる。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は基本的に対面形式で実施し、3回程度メディア授業を取り入れる予定である。授業内容に応じて、グループワークやプレゼンテーションを行う。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本演習の目的と概要、スケジュール確認、グループワークの編成、役割分担ゼミ活動の内容、ゼミの進め方について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	人間動作の測定方法	人間の動作を測定する方法の基礎知識を学ぶ。測定機器の種類、原理、操作方法。データの記録方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	モーションキャプチャ入門	モーションキャプチャの基礎知識と最新技術。モーションキャプチャの原理、データの記録方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	モーションキャプチャ入門の測定機器の操作演習Ⅰ	モーションキャプチャの操作演習。グループワークでデータを記録する。	<input type="checkbox"/>
第5回	モーションキャプチャ入門の測定機器の操作演習Ⅱ	モーションキャプチャの操作演習。グループワークでデータを集計する。	<input type="checkbox"/>
第6回	他大学データサイエンス学部など大学院生との交流	他大学研究グループの大学院生によるデモンストレーション、研究紹介と質疑応答	<input type="checkbox"/>
第7回	研究テーマのブレインストーミング	各グループでモーションキャプチャの研究論文を輪読し、各自で応用に関する研究テーマを決定する。	<input type="checkbox"/>
第8回	研究スタート準備会	各グループの研究テーマを発表し、グループ間で質問応答、ディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	モーションキャプチャの応用Ⅰ	モーションキャプチャの応用について調査研究の研究計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第10回	モーションキャプチャの応用Ⅱ	モーションキャプチャの応用について調査研究を実施する。	<input type="checkbox"/>
第11回	モーションキャプチャの応用Ⅲ	モーションキャプチャの応用について調査研究を実施する。得られたデータを統計ソフトに入力する。	<input type="checkbox"/>
第12回	データ分析演習	データ分析の基礎と実践。グループでの調査研究で得られたデータを初歩的に解析する。	<input type="checkbox"/>
第13回	中間発表会	研究進捗状況の発表。他のグループから質問とアドバイスを受ける。それにより、追加試験やデータの再解析についてグループ内でディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	最終報告書の作成	最終報告書の作成に向けて、追加試験や再分析、報告書の執筆に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第15回	最終報告書の提出	総合討論：研究成果の共有と今後の展望	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に配布資料やインターネットで授業テーマと内容を予習し(2時間程度)、授業後に課題レポートを作成する(2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポート・練習問題は翌週フィードバックし、解説とともに解答例を提示し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	健康データサイエンスの手法を用いて、身体データの測定など個々の健康問題の解決に応用方法を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内課題とレポートを平常点として採点する。授業時間内に出欠を取る(合計15回分)。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		